

平成21年度

橋梁技術発表会及び講演会

- 次世代に贈る鋼橋のために -

平成21年

日時 11 / 6

金

13:10~16:55

参加費無料
定員200名
申込先着順

会場 仙台国際センター2F 萩

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
Tel.022-265-2211

13:10~13:20 開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会
会長 須賀安生

13:20~13:35 橋建協の講習会・講演会活動報告

企画委員会広報小委員会

第1部：技術発表会

13:35~14:15

1. 鋼橋の維持管理に配慮した
設計・施工の留意点

ー過去の補修・補強事例からのフィードバックー

保全委員会保全技術小委員会

14:15~14:55

2. ストーンカッターズ橋工事報告

ー世界最大級の複合構造斜張橋の製作・架設についてー

企画委員会国際小委員会

14:55~15:35

3. 鋼床版の維持管理における調査方法

ー実態調査に基づく鋼床版の点検手法の検討ー

技術委員会鋼床版小委員会

15:35~15:50

休憩

第2部：特別講演会

15:50~16:50

1. 韓国と日本、中国における
橋梁建設動向の比較



東北学院大学 工学部
環境建設工学科
准教授 李 相勲

16:50~16:55

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

申込方法

- ① Fax. 022-262-4855 (裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月下旬から)

申込期限 平成21年10月23日(金)

懇親会 仙台国際センター1階「ラ・フォーレ」にて
17時10分から開催します。

会費 1,000円

参加ご希望の方は、発表会当日受付にてお申し込みください。

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会 東北事務所
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-11 仙台グリーンプレイス
Tel. 022-262-4855

継続教育

CPDS認定予定

- ※ 東京地区は 10月 9日(金) (特別講演講師: 東京工業大学 三木教授)
- 大阪地区は 10月23日(金) (特別講演講師: 大阪工業大学 栗田教授)
- 九州地区は 11月12日(木) (特別講演講師: 熊本大学 崎元顧問)
- 中部地区は 11月18日(水) (特別講演講師: 名古屋大学 伊藤教授)開催です。

申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたはダウンロードするようお願いします。

アクセス



- 仙台駅西口バスプール9番乗り場より「仙台国際センター」行き、「博物館国際センター前」下車(バス移動約10分、徒歩約1分)
710(宮教大・青葉台)、713(宮教大・成田山)、715(宮教大)、
719(動物公園循環(青葉通・工学部経由)、720(交通公園・川内営業所)
のいずれかにお乗りください。

※会場内にH20高校生「橋梁模型」作品発表会受賞作品・写真を展示

1 鋼橋の維持管理に配慮した設計・施工の留意点

ー過去の補修・補強事例からのフィードバックー

高度経済成長期に多数の鋼橋が架設されています。これらの維持管理が重要視される一方、設計・施工時に将来の維持管理への知見・配慮が十分でなく、点検や補修・補強工事が難航する事例も多くみられます。本発表では、このような事例を紹介し、設計・施工の留意点を提案します。また、若手技術者向けに、現在では使われていない材料や構造、新設工事では見られない保全工事特有の工法などを紹介します。

2 ストーンカッターズ橋工事報告

ー世界最大級の複合構造斜張橋の製作・架設についてー

ストーンカッターズ橋は、香港ランブラー海峡を跨いで青衣島～九龍半島(ストーンカッターズ半島)に架かる橋長1,596m、中央径間1,018mの世界最大級(世界第二位)の斜張橋です。主桁は中央径間と主塔周りが鋼製、側径間がコンクリートの2主箱桁で、2基の主塔はステンレス、鋼、コンクリートのハイブリッド構造が採用されています。

本格的な国際入札案件で、必要な材料・資材は世界各国から調達し、技術者・作業員は香港、日本、イギリスをはじめとする世界各国から集まりました。本報告では、中国本土での鋼桁および主塔鋼・ステンレス部の製作と、香港でのそれらの現地架設について報告します。

3 鋼床版の維持管理における調査方法

ー実態調査に基づく鋼床版の点検手法の検討ー

昨今、主に都市高速や湾岸地域などにおいて、重交通に起因する鋼床版橋梁の疲労き裂が発見され、原因究明や補修・補強工法の検討、および最新の知見による補修工事などが行われています。鋼床版小委員会では、国土交通省国土技術政策総合研究所との共同研究として、重交通路線に位置する国道を対象とした全国調査を行い、これらの経験を踏まえ、特に通常の目視点検では発見が困難なトラフリブを有する鋼床版を対象としたデッキプレート貫通型き裂の検出のための調査要領(案)を作成しました。ここでは、全国調査で発見された疲労損傷事例と調査要領(案)の概要を報告します。

特別講演会 講演者紹介

1 韓国と日本、中国における橋梁建設動向の比較

李 相勲

東北学院大学 工学部
環境建設工学科准教授

ー略歴ー

1966年 韓国生まれ
1987年 慶北大学(工科大学 土木工学科) 卒業
2001年 名古屋大学工学研究科
土木工学修士課程 修了
2004年 名古屋大学工学研究科
土木工学博士課程 修了
2004年 名古屋大学大学院工学研究科助手
2005年 東北学院大学工学部講師
2006年 東北学院大学工学部助教授
2007年 東北学院大学工学部准教授

研究分野

構造工学
地震工学
維持管理工学

研究テーマ

- 地震応答解析における連続高架橋構造物の伝達境界の定式化
- 橋梁上の門型標識柱に対する振動解析と疲労耐久性評価手法

講演概要

世界の橋梁建設技術を主導してきた日本が国内の需要の減少と不況等の余波で躊躇しているうち、韓国がその後を追い吊橋、斜張橋等、長大橋梁を相次ぎ建設し橋梁強国に踏み出している。最近では中国が高度の経済成長を武器に大量の長大橋梁を建設しながら、新しい橋梁強国としての位置を確保しつつある。講演では、韓国、日本、中国を代表する橋梁のなかで、吊橋、斜張橋、アーチ橋、エクストラードード橋、プレストレスト・コンクリート橋、鋼桁橋などをメインに、橋梁の発展史や各国の橋梁の特徴、建設秘話等について紹介する。

FAX番号:022-262-4855

平成21年度

橋梁技術発表会 [東北地区]

参加申込書

所 属	団体名	所属
氏 名	役職	氏名
住 所	〒	
電話番号	FAX番号	
E-mail		

前回参加の有無 有 ・ 無